

# 知多市教育委員会と知教労との話し合いまとめ

2021年10月12日(月)PM4:00～

知多市教育委員会

知多地方教職員労働組合(組)

教育長 永井清司(長) 指導主事 大西博(主) 書記長 岡崎良久 副委員長 岩澤弘之 会計 中沢晶子

## 1. 勤務時間の上限に関する指針の遵守について

主 昨年度時間外の基準を守れたのは小学校で3校、中学校は無し。働き方改革をもっと進めていかなければいけない。変形労働時間制は導入するつもりは無い。ブラックと言われぬようにやっていきたい。

組 土日の記載が、中学は学校によって差が大きく、6月調査なのに小学校はほとんどない。休憩も45分とれたことになっている。

主 昨年この場で話をした後に施設の方に話をし、C 4thで休憩が取れなかったのが入るようにした。

組 休憩が計上されないで月15時間ぐらい、土日も4、5時間となると月20時間ぐらい在校時間が少なく出ているのではないか。

主 年度替わり前後に教頭にはC 4thの休憩記載の件は周知してくださいと話した。改めて話をする。

組 月の記録は個人単位か、学校単位か。

主 学校単位で記録をもらい、45時間超過などは私の方でも把握している。

組 持ち帰り業務が増えていないだろうか。文科省も調査するよう言っている。留守番電話も文科省の言う、勤務時間に合わせる見通しはあるか。

長 下校後は警察や消防、地域の担当部分なので思い切って留守電時間を長くした。その代わり学校便りなどで情宣だけはしっかりするよう伝えた。

組 勤務校はGoogleのフォームで出欠連絡をするようになって、朝の電話が減った。

組 (会話を通じて)市教委が成績処理で長時間労働の認識があることは分かった。勤務が超過しない対応も願いたい。

組 今年の欠員状況はどうか。

主 中学校が一つ。春先は小学校もあった。

組 9月時点で、全県で中学校は未配置が13、そのうち1人が知多市。どこも学校や教育委員会が自前で見つけるのは困難なようだが。

長 中学校は教科の関係がある。教職が人気のある業種になるよう、県にも手を打つよう話している。

組 働き方改革について学べるよう、文科省でYouTubeにあげているので研修はすぐできる。

主 ある学校では働き方を職員会の後にみんなで話し合い、仕事を紙に書いて効率化を図っていると報告を受けている。市内衛生委員会の時に事例を紹介し、市内全校、取り入れられることに取り組んでいってもらうよう、教頭に話している。

組 中学校の部活の移行計画はどうなったか。

主 なかなか進まない。部活は中学校のみ取り組んでいるが、始業前は原則行わない。授業後の活動は17時半まで、大会が近いときなど校長の判断で+30分まで、朝部も同様。

組 県教委は、始業前の活動は原則やらない、例外はハンマー投げなど危険防止のときとしている。

主 部活担当の校長を通じてそうした声を各中学校に話をさせてもらう。

組 小学校部活の中止のように、中学の朝部も切る方向を教育委員会が出されたら、変わる。

組 サッカー場整備がニュースになった。そういうところでは良い指導者の下でスポーツができる。部活は学校単位という枠を外すのはどうか。

長 知柔会も全市。なかなかそういうのが増えてこない。未だに小学校の課外がなくなったのは残念だと公のところで言われる

組 中学校の長時間労働の原因は部活も大きいので削減できる取り組みを今後とも願います。

組 学校訪問は、勤務が労働時間内に収まらないうちは削ってもいいのではないか。普段から授業を見合ったりしてレベルを上げられる。

長 学校訪問の時ですら、片付けや清掃など気になることが多い。

組 それは学校訪問関係なしにふだんから管理職が見て指導するべき。

長 管理職には特別なことをする必要はない。普段通りでよいことを常々伝えている。担任もそういうセンスを磨く刺激になる。指導案については平行線。練られない指導案があるので、校長や教頭にも指導をする。今年は、特設の時間は他のクラスも授業をしてもらい、午後の分科会と全体会も短縮にした。

組 教務主任の負担が大きいので印刷・製本の手間は減らしてもいいのではないか。

- 長 県には印刷作業をできる人がほしいと話した。
- 組 県教委が学校訪問等を利用して在校時間管理を徹底するよう方針を出していたが、知教協の学校訪問実施要項にその目的が抜けていた。
- 組 副教材・副読本の編集のため余分な仕事が増えている。タブレットも活用すれば不要なものもある。出世のステップにはなっているから、切りにくいと思うが。
- 長 ご意見として承っておく。

## 2. 安全な学校作りについて

- 組 中学校も少人数学級推進を進めるよう発言してほしい。思いは同じだと思う。
- 組 他市ではICT機器を使って生徒間通信で悪口を送りあったと聞いた。
- 主 全校ではないが市内にもある。タブレットが持ち帰りになっていいように、学校を通じてきちんと使い方を身につけさせていくしかない。
- 組 ゲームや動画の制限についても考えていただきたい。ICT支援員さんがついて結構助かっている。アプリも審査が通れば入ようになった。活用の条件整備をお願いしたい。
- 組 中学のキャリア教育で職業を学ぶなら、多職種の講師から話を聞いた方が実習よりも役立つ。
- 主 コロナでうちは講師派遣ができないところもある。
- 組 弁護士会も、労働法制を知らないまま中高生が社会に出ていくと大変危険であって、ルールをしっかり勉強してから就職するべきだと言っている。教員に研修をするのが先決だ。教員の負担軽減にもつながるので職場体験はやめるべきだ。

## 3. 人権尊重の推進について

- 組 大府とか南知多の小学校は男女混合名簿であり、半田市は来年からやるそうだと聞いたが。
- 主 市民、保護者の方から申し入れがあれば、対応できるようにとは伝えてある。
- 組 保護者の要望が基準か。全国的には86%が男女混合名簿。愛知県でも80%を超えている。市教委は理念を示し、校長たちが判断するというような形で実現してほしい。
- 長 今後男女混合名簿に切り替えていくように、と指示することについては考えてない。しかし、女性の重要性は理念としてもっている。

- 組 男女は分けなくて平等だよ、違いはないんだよ、と意識させるのに必要であり、性不同一の問題を抱えている子も気が楽になり、不登校を減らすことにつながると思う。
- 組 制服はどうか。
- 長 制服も検討するための会議を作ろうかということは、校長会に言っている。
- 組 半田や大府はもう進んでおり、常滑も検討を始める。急には変えるのは難しいが選択肢が増えるといい。

## 4. その他、労働条件・教育条件について

- 組 特定事業主行動計画で、教員も対象にするのはどうなったか。
- 主 他の部署から6年の改訂に向けてご意見として伺うと言われた。
- 組 法でやるよう決められているので、ぜひやっていただきたい。
- 組 条例もないのに、教務・校務は異動などで準管理職扱いになっている。条例に規定がない以上教諭として扱うべき。校内で決めれば、いろんな方がなれるので、より教頭に適する人材も見つかる。
- 組 再任用ハーフの2人担任はどうか。
- 長 小学校の1校で特別支援学級にある。
- 主 事務所には伝えてある。
- 組 東海市の場合は普通学級であって驚いた。
- 長 市教委が特別支援の担任をやるよう指示したわけではない。やりにくいと聞いており、子どもたちもその先生もかわいそうと思う。しかし、入れないと欠員ができてしまう。県にも改善するよう話している。
- 組 再任用を定数外にしてくれと私達も言っている。2人担任がない方向で指導していただきたい。
- 組 就学時健診のために授業が3時間削られる学校がある。市の方でまとめてやっていただきたい
- 長 要望として承っておく。
- 組 パワハラ防止指針の周知状況はどうか。
- 主 昨年6月の改訂時に下ろしている。
- 組 職員一人一人にはどうか。
- 主 校長会等で必ず職員に周知するよう話す。
- 組 不祥事は印刷されてすぐ職員一人一人に配られるが、こういう大事な文書が回ってこない。労働法制をぜひ周知してもらいたい。
- 今年も真摯に対応していただきました。